

## “宇宙でつながる!” 宇宙系サイエンスカフェ Astro Cafe ～Imagine the Universe～ (12065A)

すずき ひろゆき  
鈴木 裕行 (数理物質科学研究科 博士前期課程 2年)



### 「宇宙」の魅力とは?

みなさん「宇宙」をご存知ですか。そう質問すれば誰もが「YES」と答えるでしょうし、「宇宙」は好きですかと質問すると「NO」と答える人はほとんどいないと思います。それくらい「宇宙」という言葉は日常に当たり前に存在します。しかし、宇宙についてのどのようなイメージを持っているかと聞くと「夢」や「ロマン」と言う人が多く、具体性に欠ける解答がほとんどです。しかし宇宙は夢やロマン以外にも多くの素晴らしさを兼ね揃えているのです。

科学の進展によって宇宙は約137億年前に誕生し、約46億年前に太陽や地球が誕生したことが分かっています。このような事実は、「なんで私は生まれたのだろう」という人々が持つ根源的な疑問に答えることに繋がるのではないのでしょうか。また、2010年6月13日に小惑星探査機「はやぶさ」が60億kmにわたる宇宙の旅を終えて地球に帰還したのはご存知でしょうか。その出来事は多くの日本人の心を動かしたと思います。はやぶさを描いた映画も何本も上映され、多くの人に宇宙を知ってもらえた出来事でした。このように天文学の発展や宇宙開発のミッションは、今まで人々の心を大きく動かしてきました。

### 「宇宙」を伝える・共有するという事

ではなぜ「宇宙」は人の心を動かすのでしょうか。それは宇宙が持つ「時間スケール」,「距離スケール」の非常識的な大きさに起因するものだと思います。宇宙の歴史は137億年という年月ですし、宇宙では一番近所の月に行くまでも新幹線で約50日の距離です。そのような理由から「宇宙」を知るということには必ず驚きが伴います。その驚きは我々が子どもの頃、知らなかったことを経験し、自分の世界が広がった時のそれに似ているのではないのでしょうか。大人になってからだとそのような経験は少なくなるとは思います。とても重要だと私は考えます。実利益ばかり求める現代の社会の中で精神性に訴えることが出来、人々の心を潤すオアシスのような存在、それが「宇宙」なのではないのでしょうか。それを念頭に起き、私は2年ほど前から宇宙をテーマとした教育・普及活動を始めました。子ども向けに宇宙授業をしたり、天体観望会のお手伝いをしたりしました。その経験でわかったことは、やはり大人も子どもも、素直に

「すごい!」と言い、笑顔になるということです。このような経験を、私は筑波大学でも多くの学生にそのような体験をしてもらいたいと思いました。

### 小さな繋がりから「宇宙」の繋がりへ

その後、善は急げということで、宇宙をテーマとした活動をするために筑波大学で宇宙好きの学生を集め、宇宙系活動団体TSC (Tsukuba Space Cluster) を結成しました。そのTSCでT-ACTを使って宇宙をテーマとして扱ったサイエンスカフェ「Astro Cafe」の開催をしました。2012年5月に第1回を開催したときには短い広報期間にも関わらず、100人を超える来場者が集まり、たくさんの人に宇宙を楽しんでもらえました。その結果、2012年度上半期T-ACT最優秀賞をいただくことが出来ました。自分の活動が認められたことで私の自信にも繋がりました。「やってよかったんだ!」と初めて心から思えた瞬間でした。今まで自分の活動はただのエゴの押し付けなのではないかと自問自答し、長く悩んでいたのですが、やっと気が晴れました。

その後、オーガナイザーであった後輩がプランナーとなり、第2回のAstro Cafeの開催を行ってくれました。このようにAstro Cafeが代々後輩に受け継がれ、多くの人が宇宙に触れ、宇宙からたくさん刺激的なことを感じてもらえることを願っています。そして、このような小さな「宇宙の繋がり」が筑波大学を中心とし、日本全国へ、そして世界中へ広がってくれればと思っています。まだ初めの一步を踏み出したばかりです。これからも活動に精進していこうと思っています。

連絡先: [tscastro2012@gmail.com](mailto:tscastro2012@gmail.com)

TSC HP: <http://201110882.jimdo.com/>



Astro Cafeでのグループディスカッションの様子